

「生活意識に関するアンケート調査」(第49回)の結果 —— 2012年3月調査 ——

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、1993年以降、全国の満20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

<目 次>

1. 要 旨	
1-1. 景況感等	2 頁
1-2. 暮らし向き、消費意識	4 〃
1-3. 物価に対する実感	6 〃
1-4. 先行きの地価動向	10 〃
1-5. 日本経済の成長力	10 〃
1-6. 日本銀行の広報活動に関する評価	11 〃
2. 集計対象標本の属性分布	15 〃
3. アンケート調査結果の詳細	16 〃

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 2012年2月8日(水)～3月5日(月)
- ・ 調 査 対 象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標 本 数 : 4,000人(有効回答者数 2,238人<有効回答率 56.0%>)
- ・ 抽 出 方 法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調 査 方 法 : 質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

<本件に関する照会先>

情報サービス局総務課総務企画グループ
小野寺、阿部、早川(直通:03-3277-2405)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

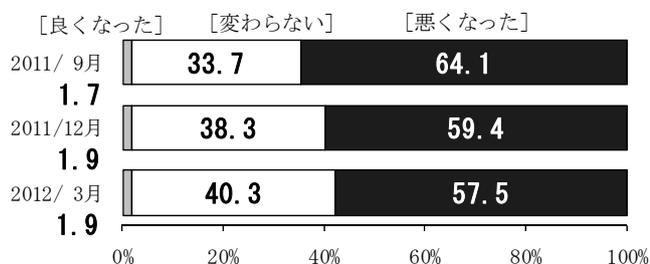
1-1-1. 景況感

景況感のうち、現在（1年前対比）については、「悪くなった」との回答が減少したことから、景況感D. I.は改善した。先行き（1年後）については、「良くなる」との回答が減少し、「良くなる」との回答が増加したことから、景況感D. I.は改善した。

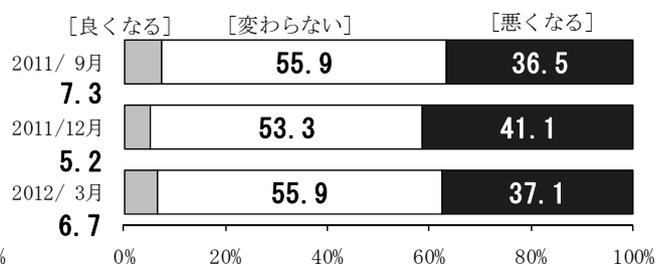
なお、現在の景気水準については、「悪い」と「どちらかと言えば、悪い」との回答の合計が減少したが、引き続き8割前半となった。

(図表1) 景況感 [Q1、3、4]

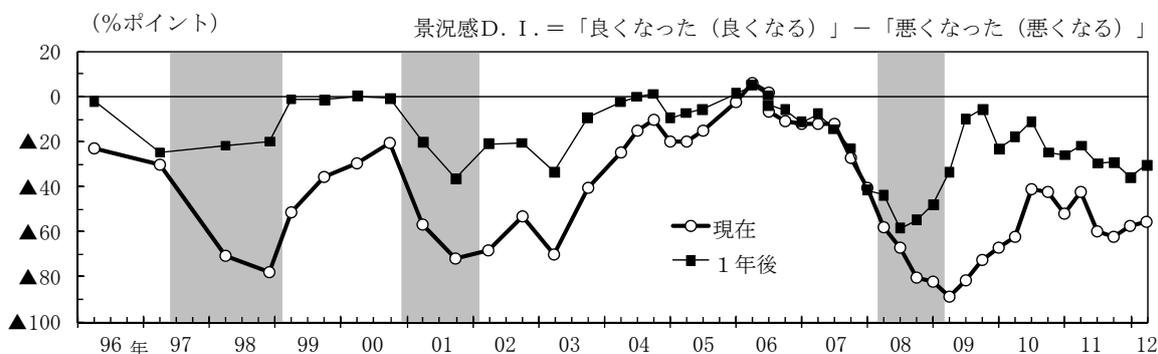
<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>



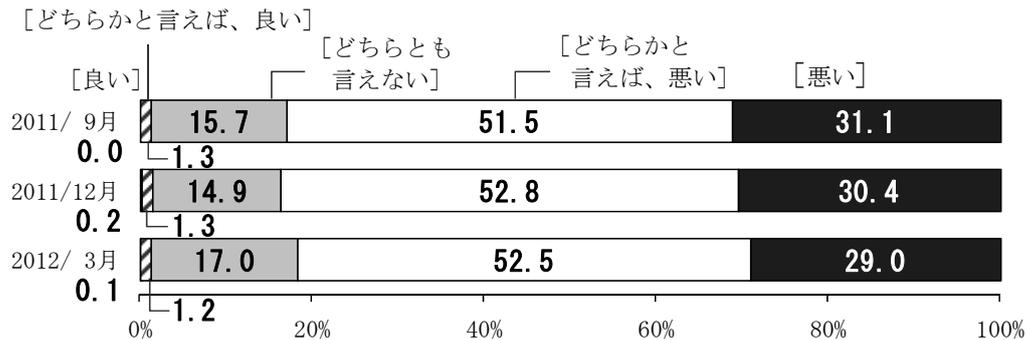
<景況感D. I.の推移>



	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3
現在の景況感 D. I. (前回比)	▲81.4 (+7.5)	▲72.3 (+9.1)	▲67.0 (+5.3)	▲62.0 (+5.0)	▲41.2 (+20.8)	▲42.1 (▲0.9)	▲51.7 (▲9.6)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)
1年後の景況感 D. I. (前回比)	▲9.9 (+23.6)	▲5.7 (+4.2)	▲23.1 (▲17.4)	▲17.9 (+5.2)	▲11.2 (+6.7)	▲24.7 (▲13.5)	▲25.9 (▲1.2)	▲21.7 (+4.2)	▲29.6 (▲7.9)	▲29.2 (+0.4)	▲35.9 (▲6.7)	▲30.4 (+5.5)

- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I.は「良くなっていると思う」-「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. シャドー部分は、景気後退期。

<現在の水準>

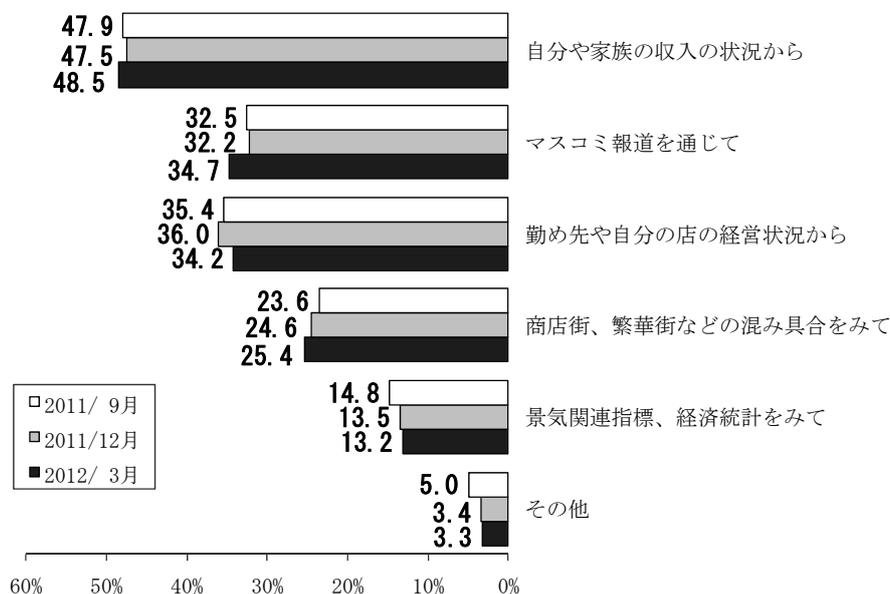


1-1-2. 景気判断の根拠等

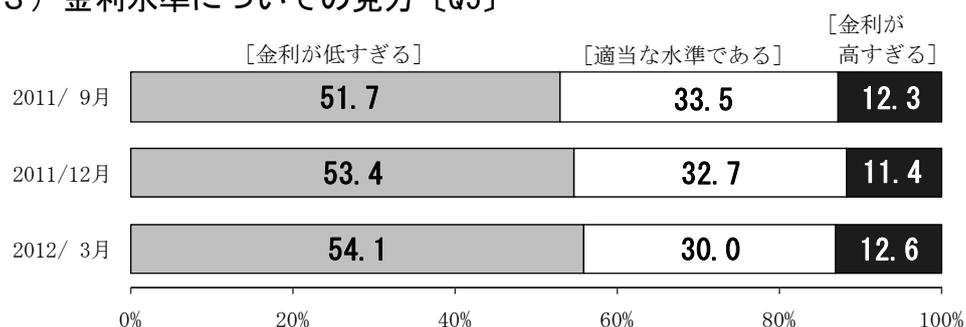
景気判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「マスコミ報道を通じて」、「勤め先や自分の店の経営状況から」といった回答が多かった。

金利水準についての見方は、「適当な水準である」との回答が減少し、「金利が高すぎる」、「金利が低すぎる」との回答が増加した。

(図表2) 景気判断の根拠 (2つまでの複数回答) [Q2]



(図表3) 金利水準についての見方 [Q5]

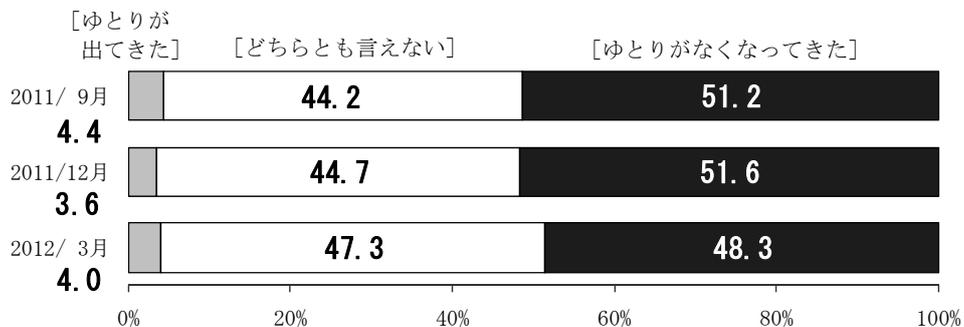


1-2. 暮らし向き、消費意識

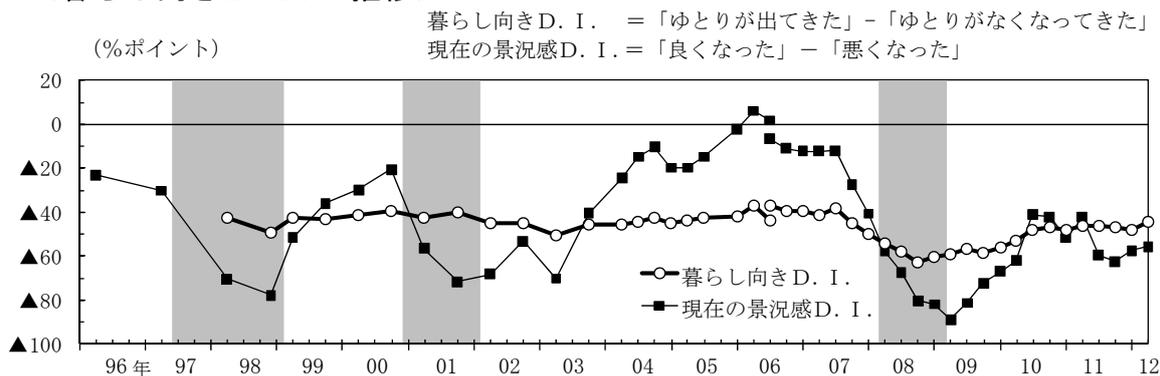
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりがなくなってきた」との回答が減少したことから、暮らし向きD. I.は改善した。

（図表4）現在の暮らし向き〔Q6〕



<暮らし向きD. I.の推移>



	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3
暮らし向きD. I. (前回比)	▲57.0 (+2.4)	▲58.7 (▲1.7)	▲56.1 (+2.6)	▲52.9 (+3.2)	▲48.0 (+4.9)	▲46.8 (+1.2)	▲48.1 (▲1.3)	▲46.2 (+1.9)	▲46.4 (▲0.2)	▲46.8 (▲0.4)	▲48.0 (▲1.2)	▲44.3 (+3.7)
現在の景況感D. I. (前回比)	▲81.4 (+7.5)	▲72.3 (+9.1)	▲67.0 (+5.3)	▲62.0 (+5.0)	▲41.2 (+20.8)	▲42.1 (▲0.9)	▲51.7 (▲9.6)	▲42.3 (+9.4)	▲59.5 (▲17.2)	▲62.4 (▲2.9)	▲57.5 (+4.9)	▲55.6 (+1.9)

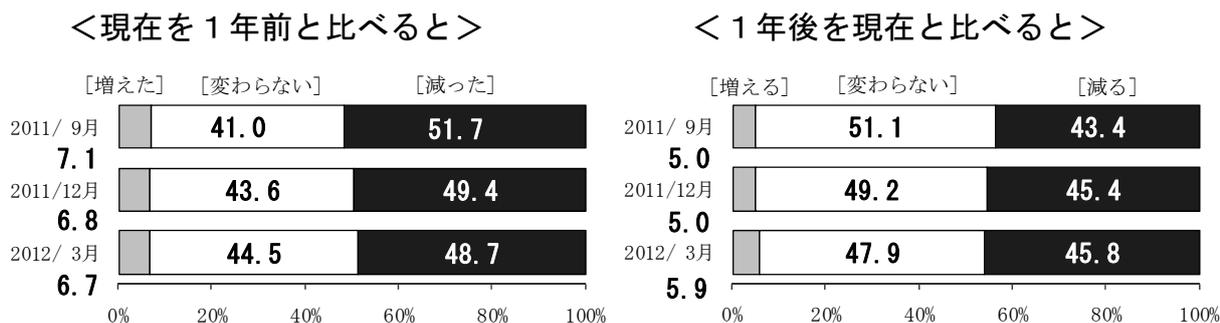
- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までの景況感D. I.は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」、暮らし向きD. I.は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」 - 「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. シャドー部分は、景気後退期。

1-2-2. 収入・支出

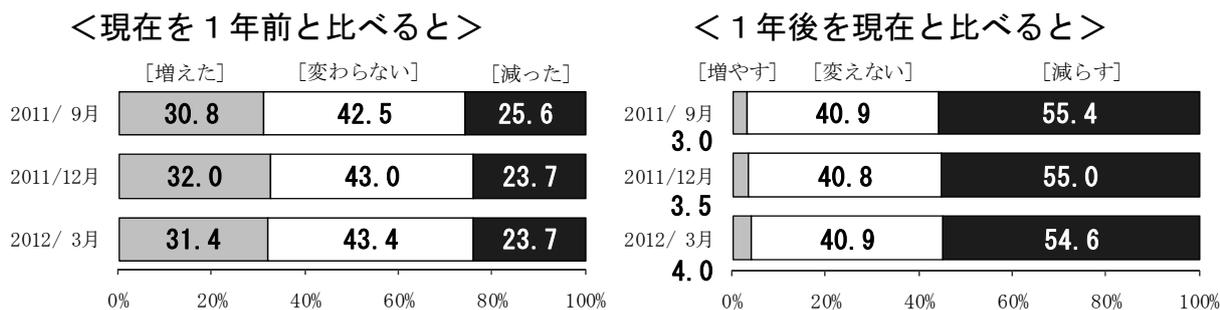
収入の増減については、実績（1年前対比）は、「減った」との回答が減少し、「変わらない」との回答が増加した。先行き（1年後）は、「増える」との回答が増加し、「変わらない」との回答が減少した。

一方、支出の増減については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が減少した。先行き（1年後）は、「増やす」との回答が増加した。

（図表5）収入〔Q7、8〕



（図表6）支出〔Q9、11〕

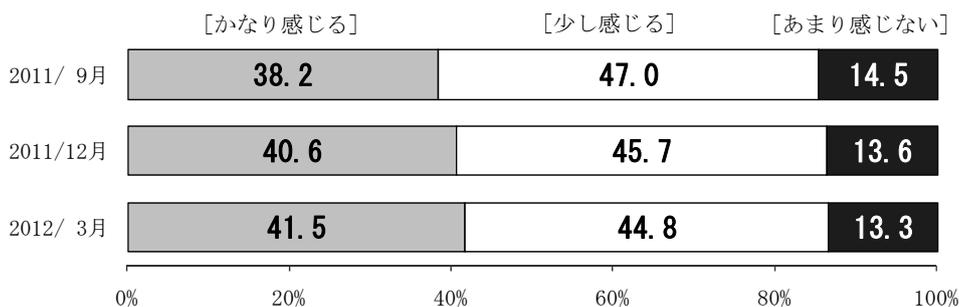


1-2-3. 雇用環境

1年後を見た勤労者^(注)の勤め先での雇用・処遇の不安については、「少し感じる」との回答が減少し、「かなり感じる」との回答が増加した。

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

（図表7）1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）〔Q20<うち勤労者>〕



1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1)に対する実感(1年前対比)は、『上がった』^(注2)との回答が増加し、『下がった』^(注3)との回答が減少した。

また、1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+3.4%<前回:+3.2%>)は上昇率が前回比拡大し、中央値(+0.5%<前回:+0.5%>)は上昇率が前回比横ばいとなった。

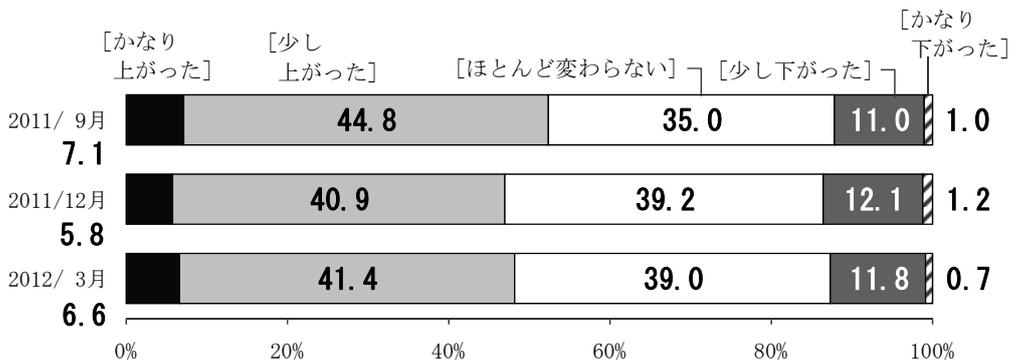
(注1)「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

(注2)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注3)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表8) 現在の物価に対する実感 [Q12、13]

<現在を1年前と比べると>



<1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
11/9月	+3.6%	+1.5%
11/12月	+3.2%	+0.5%
12/3月	+3.4%	+0.5%

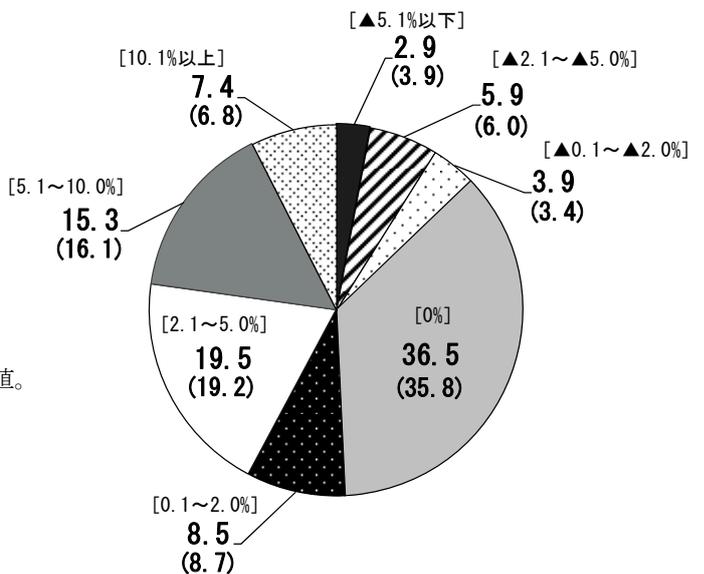
(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

なお、全サンプルの単純平均値は、+3.4% (前回調査<2011/12月実施>:+3.3%)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>

()内は前回調査(2011/12月実施)の結果



1-3-2. 1年後の物価

1年後の物価については、『上がる』^(注1)との回答が増加し、『下がる』^(注2)との回答が減少した。

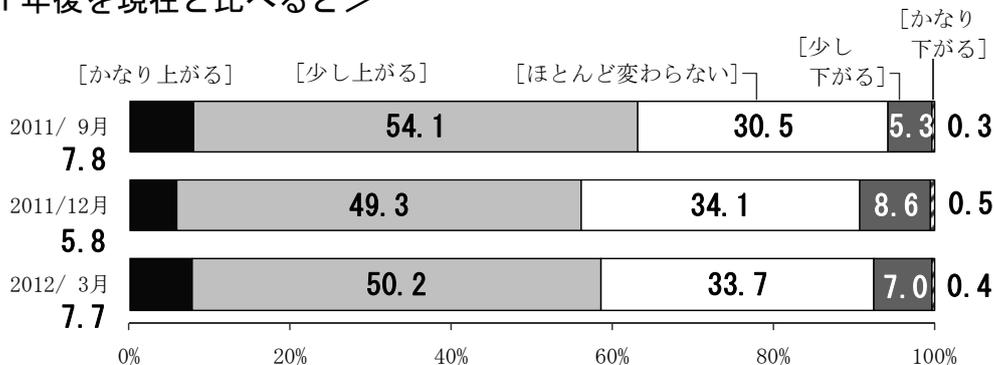
また、1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+4.0%<前回:+3.6%>)は上昇率が前回比拡大し、中央値(+2.0%<前回:+2.0%>)は上昇率が前回比横ばいとなった。

(注1)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2)『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表9) 1年後の物価に対する見方 [Q14、15]

< 1年後を現在と比べると >



< 1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか >

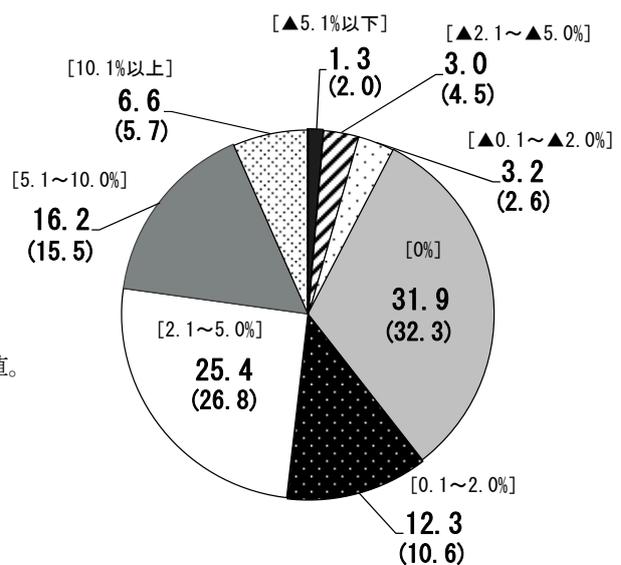
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
11/ 9月	+ 4.4 %	+ 3.0 %
11/12月	+ 3.6 %	+ 2.0 %
12/ 3月	+ 4.0 %	+ 2.0 %

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+4.1%
 (前回調査<2011/12月実施>:+3.8%)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

< 今回調査の回答の分布 >

()内は前回調査(2011/12月実施)の結果



1-3-3. 5年後の物価

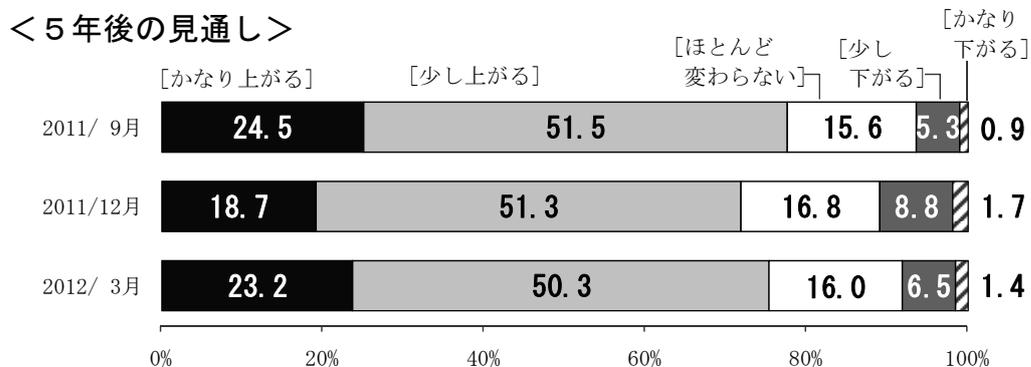
5年後の物価については、『上がる』^(注1)との回答が増加し、『下がる』^(注2)との回答が減少した。

また、これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値(+4.3% <前回: +4.0% >)、中央値(+2.5% <前回: +2.0% >)ともに上昇率が前回比拡大した。

(注1) 『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(注2) 『下がる』は「かなり下がる」と「少し下がる」の合計。

(図表10) 5年後の物価に対する見方 [Q16、17]



＜5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか＞

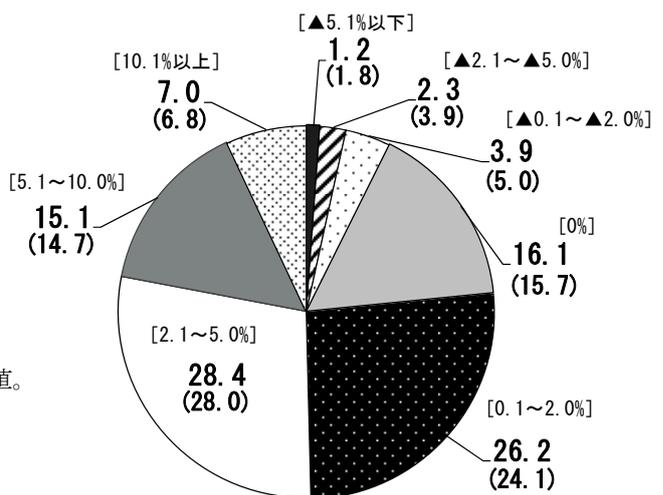
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
11/ 9月	+ 4.7 %	+ 3.0 %
11/12月	+ 4.0 %	+ 2.0 %
12/ 3月	+ 4.3 %	+ 2.5 %

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+4.3%
 (前回調査<2011/12月実施> : +4.2%)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

＜今回調査の回答の分布＞

()内は前回調査(2011/12月実施)の結果



1-3-4. 物価上昇・下落についての感想

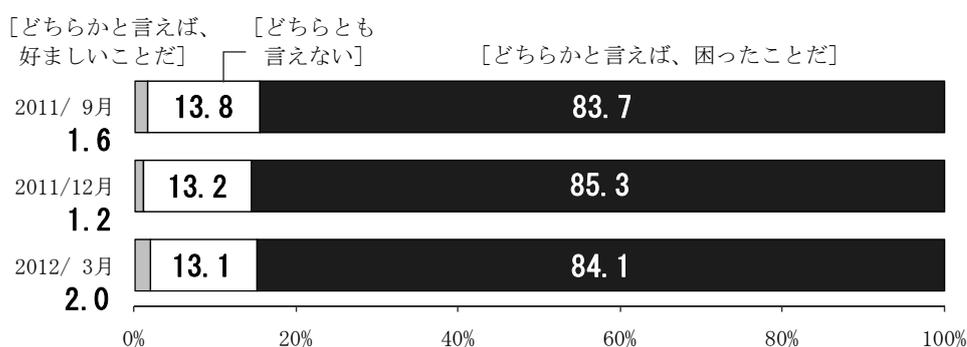
1年前と比べて物価が『上がった』^(注1)と答えた人(4割台後半)に、その感想を聞くと、8割台半ばの人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

一方、1年前に比べて物価が『下がった』^(注2)と答えた人(1割台前半)に、その感想を聞くと、約3割の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答し、2割台後半の人が「どちらかと言えば、好ましいことだ」と回答した。

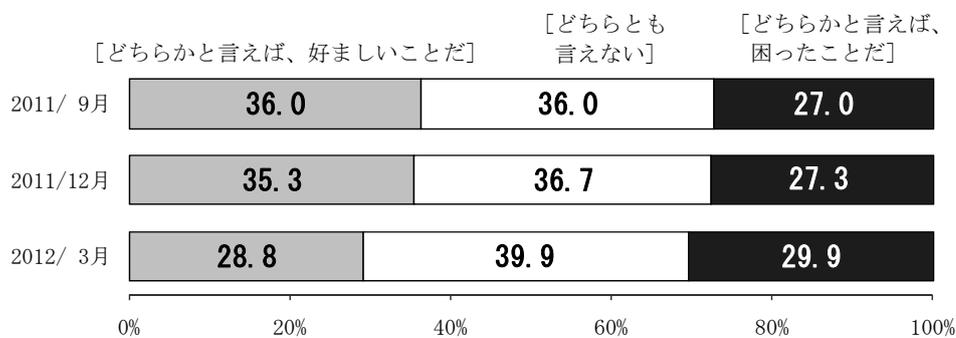
(注1)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(注2)『下がった』は「かなり下がった」と「少し下がった」の合計。

(図表 1 1) 物価上昇についての感想 [Q12-a]



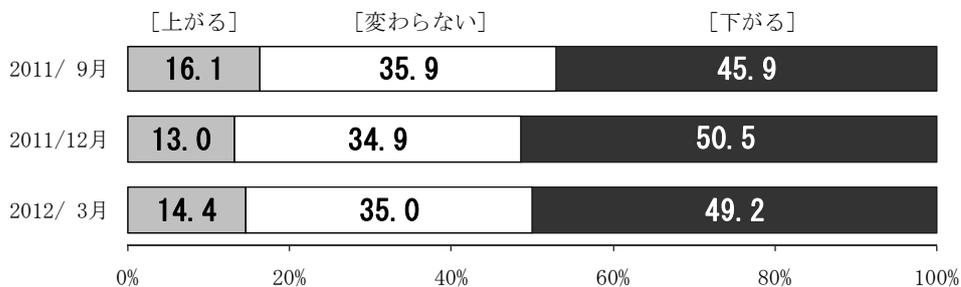
(図表 1 2) 物価下落についての感想 [Q12-b]



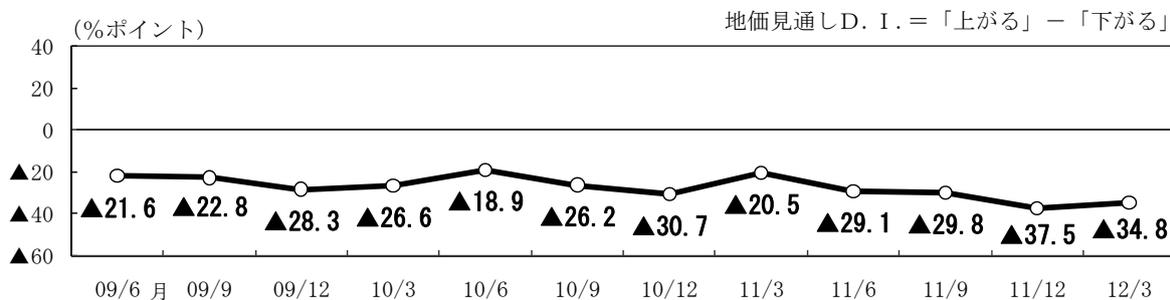
1-4. 先行きの地価動向

先行きの地価については、「上がる」との回答が増加し、「下がる」との回答が減少したことから、地価見通しD. I. はマイナス幅を縮小した。

(図表 1 3) 先行きの地価動向に対する見方 [Q18]



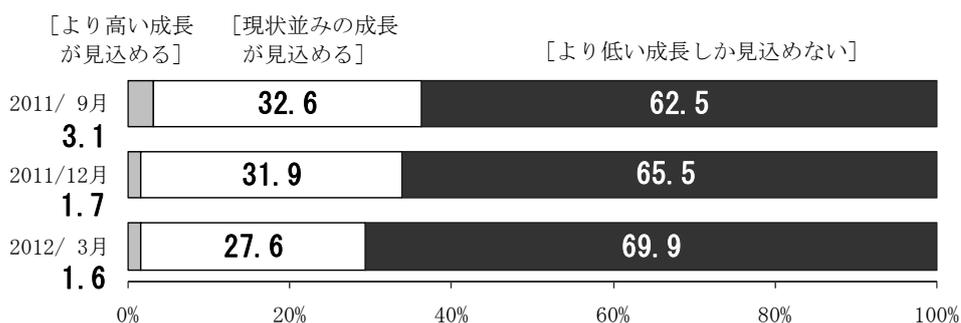
<地価見通しD. I. の推移>



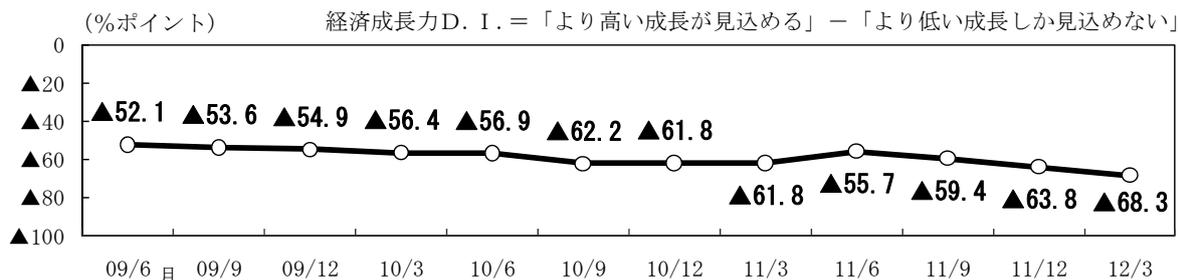
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「より低い成長しか見込めない」との回答が増加したことから、経済成長力D. I. はマイナス幅を拡大した。

(図表 1 4) 日本経済の成長力に対する見方 [Q19]



<経済成長力D. I. の推移>



1-6. 日本銀行の広報活動に関する評価

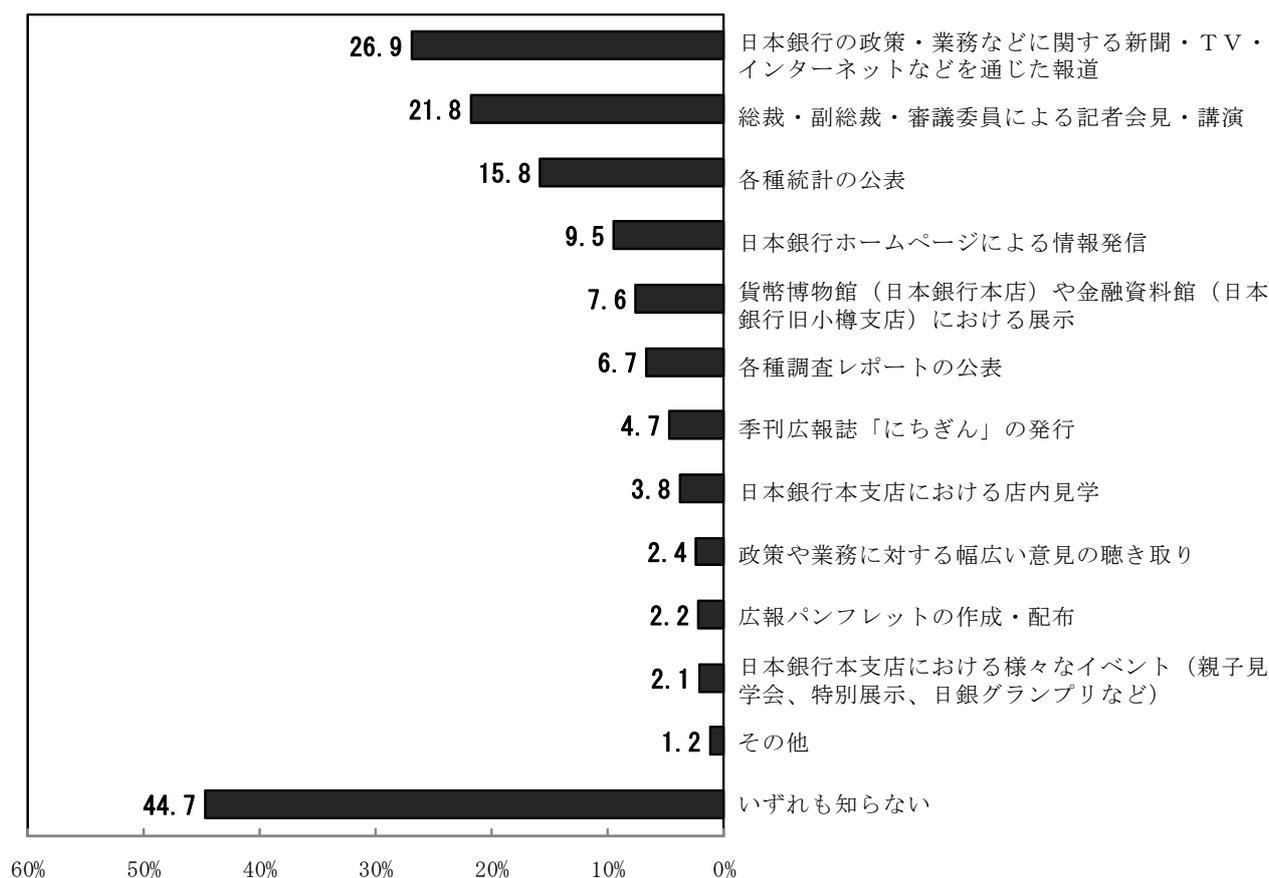
(注) 今回特別に調査。なお、3月および9月調査ではその時々的情勢を踏まえながら個別のテーマに関する調査項目を設定しています。

1-6-1. 日本銀行の情報発信や広報・PR活動に関する認知度

日本銀行の情報発信や広報・PR活動のうち知っているものについて尋ねたところ、「日本銀行の政策・業務などに関する新聞・TV・インターネットなどを通じた報道」との回答が最も多かった。次いで「総裁・副総裁・審議委員による記者会見・講演」、「各種統計の公表」、「日本銀行ホームページによる情報発信」との回答が多かった。

一方、「いずれも知らない」と回答した人の割合は4割台半ばとなった。

(図表15) 日本銀行の情報発信や広報・PR活動のうち知っているもの(複数回答)
[Q21]



1-6-2. 日本銀行のホームページに関する評価

日本銀行のホームページに関する利用状況について尋ねたところ（図表16）、『利用したことがある』（注1）との回答は約5%となった。『利用したことがある』と回答した人のうち、目的の情報を「簡単に探すことができた」（注2）との回答は4割台半ばとなり（図表17）、『使い勝手が良い』（注3）との回答は3割台後半となった一方、『使い勝手が良くない』（注4）との回答は約3%となった（図表18）。日本銀行ホームページを利用した理由について尋ねたところ（図表19）、「新聞・TV・インターネットなどの報道で見聞きした日本銀行に関する情報を詳しく知ろうと思ったため」との回答が最も多く、次いで「仕事や学習のために日本銀行ホームページを調べる必要があったため」との回答が多かった。

一方、日本銀行ホームページを「利用したことはない」と回答した人にその理由を尋ねたところ（図表20）、「ホームページでどのような情報が得られるのかわからないから」との回答が最も多く、次いで「新聞・TV・インターネットなどの報道から得られる情報で十分だから」、「インターネットを利用しないから」との回答が多かった。また、ホームページにどのようなコーナー（情報）があれば利用してみたいかとの質問には（図表21）、「金融や経済の仕組みを分かりやすく解説したコーナー」との回答が最も多く、次いで「金利と経済・物価の関係を楽しく学べるゲームやクイズ」との回答が多かった。

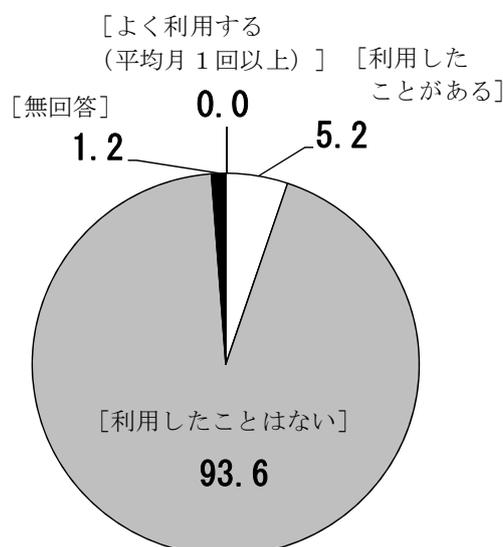
（注1）『利用したことがある』は「よく利用する（平均月1回以上）」と「利用したことがある」の合計。なお、第39回調査（2009年9月調査）において、同様の質問を行った際には、『利用したことがある』との回答は約3%であった。

（注2）なお、第39回調査では、「簡単に探すことができた」との回答は4割台前半であった。

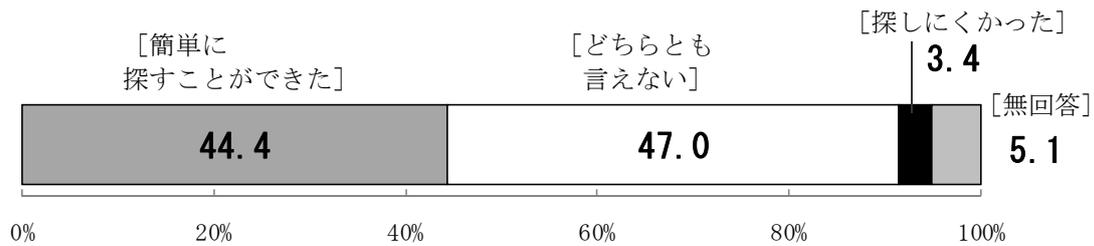
（注3）『使い勝手が良い』は「使い勝手が良い」と「どちらかと言えば、使い勝手が良い」の合計。なお、第39回調査では、『使い勝手が良い』との回答は約4割であった。

（注4）『使い勝手が良くない』は「使い勝手が良くない」と「どちらかと言えば、使い勝手が良くない」の合計。なお、第39回調査では、「使い勝手が悪い」と「どちらかと言えば、使い勝手が悪い」の合計は約5%であった。

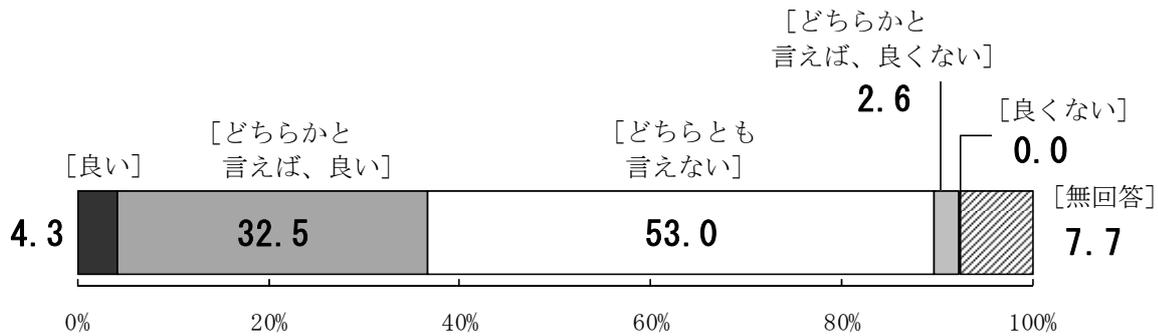
（図表16）日本銀行ホームページの利用状況〔Q22〕



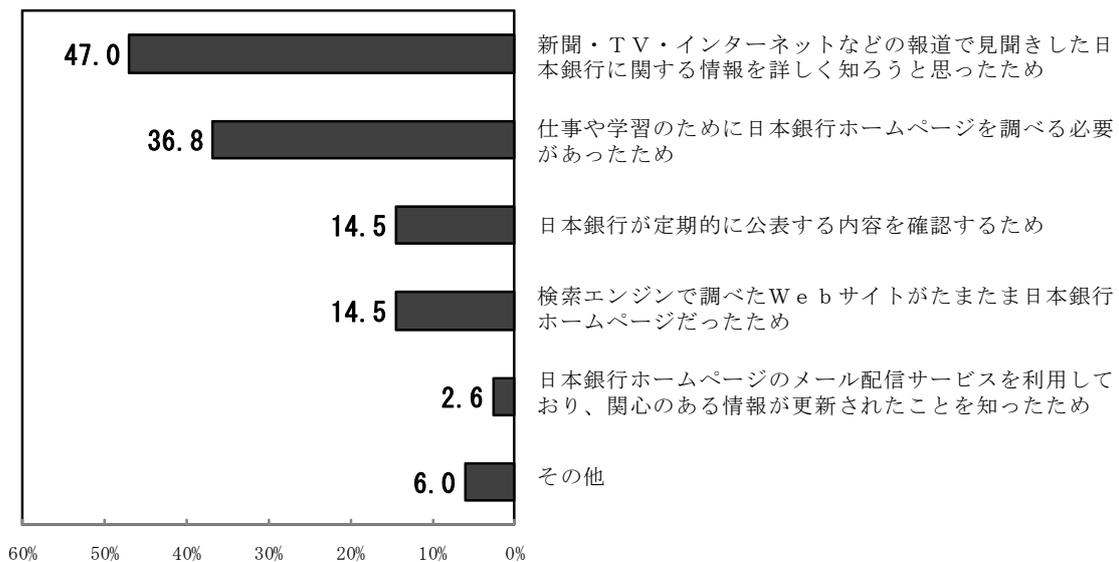
(図表 1 7) 日本銀行ホームページにおける情報の探しやすさに対する評価 [Q22-b]



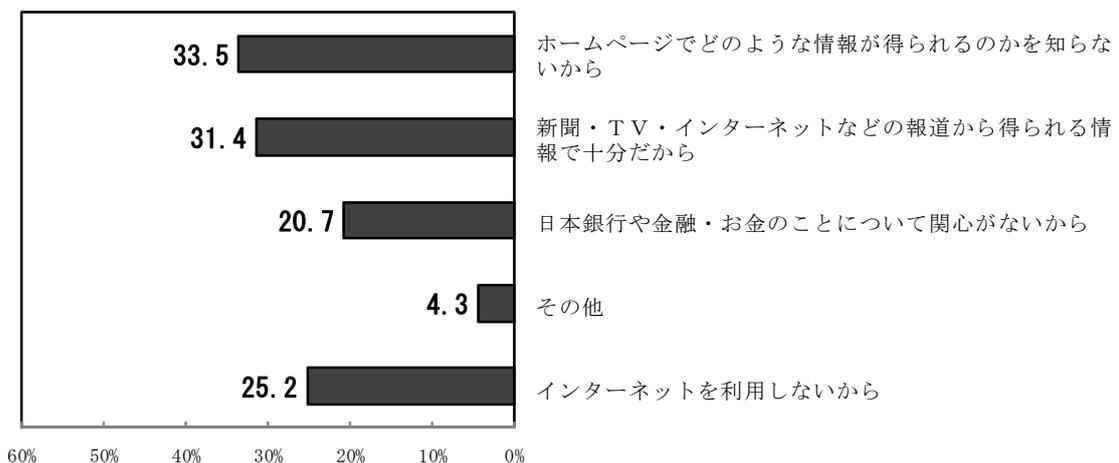
(図表 1 8) 日本銀行ホームページの使い勝手に対する評価 [Q22-c]



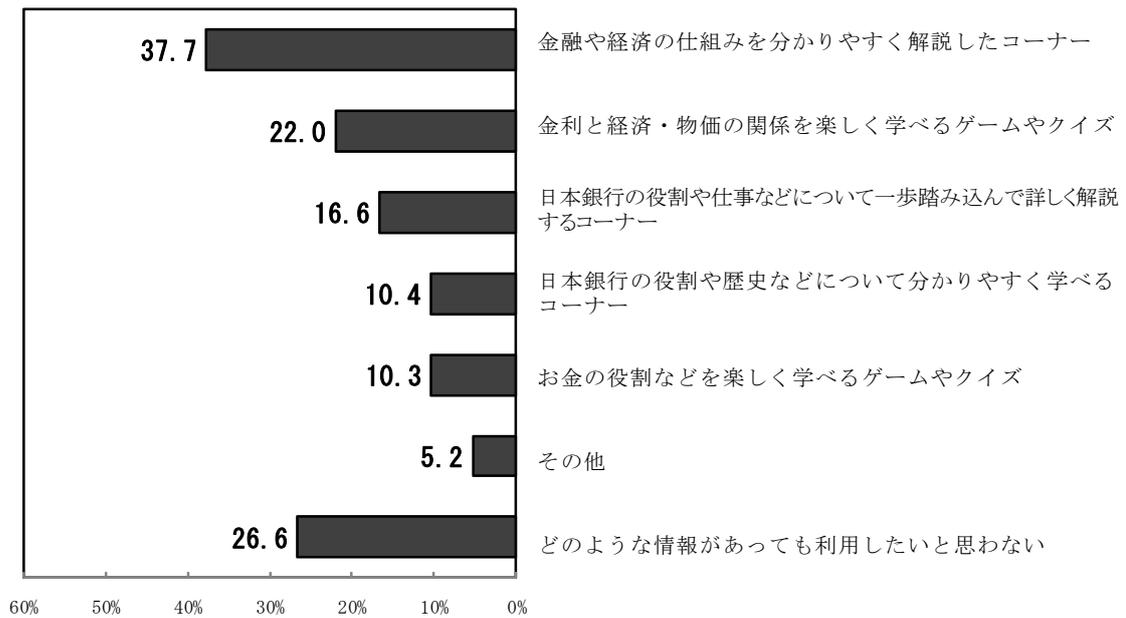
(図表 1 9) 日本銀行ホームページを利用した理由 (複数回答) [Q22-a]



(図表 2 0) 日本銀行ホームページを利用したことがない理由 (複数回答) [Q22-d]



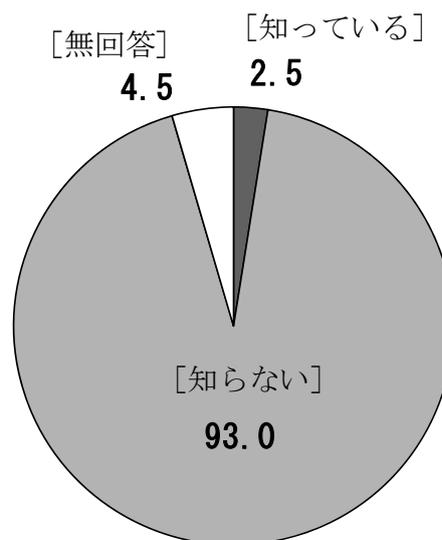
(図表 2 1) 日本銀行ホームページで利用してみたいコーナー(複数回答) [Q22-e]



1-6-3. 「金融広報中央委員会」または「金融広報委員会」に関する認知度

「金融広報中央委員会」または各都道府県の「金融広報委員会」に関する認知度について尋ねたところ、「知っている」と回答した人の割合は2.5%となった。

(図表 2 2) 「金融広報中央委員会」または「金融広報委員会」に関する認知度 [Q23]



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：%、母集団対比：%ポイント)

	2012/3月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本 (参考値)
--	------------------	---------------------------	--------------------	---------------

(性別構成)

男 性	47.4	48.3	▲ 0.9	49.6
女 性	52.6	51.7	0.9	50.4

(年齢別構成)

20～29歳	9.8	13.2	▲ 3.4	11.8
30～39歳	14.0	17.3	▲ 3.3	15.7
40～49歳	17.1	16.2	0.9	17.5
50～59歳	16.7	15.3	1.4	14.8
60～69歳	21.7	17.5	4.2	19.0
70歳以上	20.6	20.4	0.2	21.3

(地域別構成)

北海道	3.8	4.4	▲ 0.6	4.1
東 北	8.2	7.4	0.8	7.5
関 東	33.0	33.2	▲ 0.2	33.3
北 陸	3.9	4.3	▲ 0.4	4.1
中 部	15.9	14.0	1.9	14.3
近 畿	15.5	16.2	▲ 0.7	16.5
中 国	6.1	5.9	0.2	6.0
四 国	3.3	3.2	0.1	3.0
九 州	10.5	11.4	▲ 0.9	11.3

(注) 住民基本台帳に記録された2011年3月31日現在の市区町村別人口による。
ただし、2011年3月31日現在のデータが欠損している一部の市区町村については、
2010年3月31日現在のデータを用いた。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第49回) —— 2012年3月調査 ——

- ・ 選択肢ごとに付記した数値は、有効回答者数を100としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数点以下第2位を四捨五入)。
- ・ 回答は、特に断りのない限り、択一。
- ・ 四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
- ・ () 内の数値は、特に断りのない限り、前回調査結果(第48回、2011年12月実施)。

- Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなった | 1.9 (1.9) |
| 2 変わらない | 40.3 (38.3) |
| 3 悪くなった | 57.5 (59.4) |
- Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。【2つまでの複数回答】**
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 マスコミ報道を通じて | 34.7 (32.2) |
| 2 景気関連指標、経済統計をみて | 13.2 (13.5) |
| 3 勤め先や自分の店の経営状況から | 34.2 (36.0) |
| 4 自分や家族の収入の状況から | 48.5 (47.5) |
| 5 商店街、繁華街などの混み具合をみて | 25.4 (24.6) |
| 6 その他 | 3.3 (3.4) |
- Q3. 現在の景気をどう感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 良い | 0.1 (0.2) |
| 2 どちらかと言えば、良い | 1.2 (1.3) |
| 3 どちらとも言えない | 17.0 (14.9) |
| 4 どちらかと言えば、悪い | 52.5 (52.8) |
| 5 悪い | 29.0 (30.4) |
- Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなるとお考えですか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなる | 6.7 (5.2) |
| 2 変わらない | 55.9 (53.3) |
| 3 悪くなる | 37.1 (41.1) |
- Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。**
- | | |
|------------|---------------|
| 1 金利が低すぎる | 54.1 (53.4) |
| 2 適当な水準である | 30.0 (32.7) |
| 3 金利が高すぎる | 12.6 (11.4) |
- Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ゆとりが出てきた | 4.0 (3.6) |
| 2 どちらとも言えない | 47.3 (44.7) |
| 3 ゆとりがなくなってきた | 48.3 (51.6) |

Q6-a.	(Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方へ) その理由は次のうちどれですか。【複数回答】	
1	給与や事業などの収入が増えたから	69.7 (56.4)
2	利子や配当などの収入が増えたから	0.0 (1.3)
3	不動産の売却などの収入があったから	1.1 (2.6)
4	物価が下がったから	0.0 (7.7)
5	不動産・株式などの資産の価格が上がったから	0.0 (1.3)
6	扶養家族が減ったから	18.0 (14.1)
7	その他	16.9 (29.5)
Q6-b.	(Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方へ) その理由は次のうちどれですか。【複数回答】	
1	給与や事業などの収入が減ったから	65.8 (65.3)
2	利子や配当などの収入が減ったから	16.6 (16.7)
3	不動産の購入などの支出があったから	3.3 (3.8)
4	物価が上がったから	29.9 (28.5)
5	不動産・株式などの資産の価格が下がったから	11.2 (11.7)
6	扶養家族が増えたから	6.5 (7.9)
7	その他	20.3 (21.6)
Q7.	1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。	
1	増えた	6.7 (6.8)
2	変わらない	44.5 (43.6)
3	減った	48.7 (49.4)
Q8.	1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。	
1	増える	5.9 (5.0)
2	変わらない	47.9 (49.2)
3	減る	45.8 (45.4)
Q9.	1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。	
1	増えた	31.4 (32.0)
2	変わらない	43.4 (43.0)
3	減った	23.7 (23.7)
Q9-a.	(Q9で1「増えた」と答えた方へ) 支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】	
1	収入が増えたから	6.0 (4.6)
2	将来の収入増が見込まれるから	1.4 (1.7)
3	不動産など実物資産が値上がりしたから	0.3 (1.0)
4	株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.3 (0.4)
5	住宅など不動産を購入したから	4.8 (6.4)
6	車など耐久消費財を購入したから	23.1 (19.4)
7	扶養家族の増加などに伴う支出があったから	25.8 (25.8)
8	生活関連の物やサービスの値段が上がったから	45.2 (42.1)
9	その他	29.2 (32.3)
Q9-b.	(Q9で3「減った」と答えた方へ) 支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】	
1	収入が減ったから	71.3 (73.2)
2	将来の収入増が見込まれないから	48.9 (44.3)
3	不動産など実物資産が値下がりしたから	7.2 (4.9)
4	株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	11.7 (11.7)
5	扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから	7.5 (7.4)
6	その他	7.7 (8.8)

Q10-1. Q9の支出のうち、あなたの世帯では、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 8.4 (8.8) |
| 2 変えていない | 51.5 (53.3) |
| 3 減らしている | 38.7 (36.4) |

Q10-2. それでは、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。

- | | |
|----------|---------------|
| 1 増やしている | 3.8 (3.4) |
| 2 変えていない | 35.2 (36.3) |
| 3 減らしている | 60.0 (59.3) |

Q11. 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。

- | | |
|--------|---------------|
| 1 増やす | 4.0 (3.5) |
| 2 変えない | 40.9 (40.8) |
| 3 減らす | 54.6 (55.0) |

Q12. 次に「物価」についておうかがいします。

あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことです)。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がった | 6.6 (5.8) |
| 2 少し上がった | 41.4 (40.9) |
| 3 ほとんど変わらない | 39.0 (39.2) |
| 4 少し下がった | 11.8 (12.1) |
| 5 かなり下がった | 0.7 (1.2) |

Q12-a. (Q12で1または2『上がった』と答えた方へ)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 2.0 (1.2) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 84.1 (85.3) |
| 3 どちらとも言えない | 13.1 (13.2) |

Q12-b. (Q12で4または5『下がった』と答えた方へ)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 28.8 (35.3) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 29.9 (27.3) |
| 3 どちらとも言えない | 39.9 (36.7) |

Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
() %

下がった
平均値^(注1) : +3.4 (+3.2)
中央値^(注2) : +0.5 (+0.5)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。

—— 全サンプルの単純平均値は +3.4 (前回調査<2011/12月実施> : +3.3)。

(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。**
- | | | | |
|-------------|------|---|-------|
| 1 かなり上がる | 7.7 | (| 5.8) |
| 2 少し上がる | 50.2 | (| 49.3) |
| 3 ほとんど変わらない | 33.7 | (| 34.1) |
| 4 少し下がる | 7.0 | (| 8.6) |
| 5 かなり下がる | 0.4 | (| 0.5) |

- Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると思いますか。**
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 () %
 下がる

平均値^(注1) : +4.0 (+3.6)
 中央値^(注2) : +2.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +4.1 (前回調査<2011/12月実施> : +3.8)。
 (注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。**
- | | | | |
|-------------|------|---|-------|
| 1 かなり上がる | 23.2 | (| 18.7) |
| 2 少し上がる | 50.3 | (| 51.3) |
| 3 ほとんど変わらない | 16.0 | (| 16.8) |
| 4 少し下がる | 6.5 | (| 8.8) |
| 5 かなり下がる | 1.4 | (| 1.7) |

- Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると思いますか。**
 —— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
 毎年、平均 () %
 下がる

平均値^(注1) : +4.3 (+4.0)
 中央値^(注2) : +2.5 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 —— 全サンプルの単純平均値は +4.3 (前回調査<2011/12月実施> : +4.2)。
 (注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

- Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうなると思いますか。**
- | | | | |
|---------|------|---|-------|
| 1 上がる | 14.4 | (| 13.0) |
| 2 変わらない | 35.0 | (| 34.9) |
| 3 下がる | 49.2 | (| 50.5) |

- Q19. 長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。**
- | | | | |
|-----------------|------|---|-------|
| 1 より高い成長が見込める | 1.6 | (| 1.7) |
| 2 現状並みの成長が見込める | 27.6 | (| 31.9) |
| 3 より低い成長しか見込めない | 69.9 | (| 65.5) |

- Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。**

			うち勤労者 ^(注)			
1 あまり感じない	12.6	(12.3)	13.3	(13.6)
2 少し感じる	44.3	(48.0)	44.8	(45.7)
3 かなり感じる	40.6	(37.9)	41.5	(40.6)

(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

以降のQ21～23は日本銀行の広報活動に関する質問です。
 (注) 今回特別に調査。なお、3月および9月調査ではその時々の方々の情勢を踏まえながら個別のテーマに関する調査項目を設定しています。

Q21. 日本銀行では、日本銀行の政策や業務などについて多くの方々に知っていただくために、様々な広報・PR活動を行っています。
 日本銀行が行っている情報発信や広報・PR活動のうち、ご存知のものはありますか。

【複数回答】

1	日本銀行ホームページによる情報発信	9.5
2	日本銀行の政策・業務などに関する新聞・TV・インターネットなどを通じた報道	26.9
3	総裁・副総裁・審議委員による記者会見・講演	21.8
4	各種統計の公表	15.8
5	各種調査レポートの公表	6.7
6	日本銀行本支店における店内見学	3.8
7	季刊広報誌「にちぎん」の発行	4.7
8	広報パンフレットの作成・配布	2.2
9	貨幣博物館（日本銀行本店）や金融資料館（日本銀行旧小樽支店）における展示	7.6
10	日本銀行本支店における様々なイベント（親子見学会、特別展示、日銀グランプリなど）	2.1
11	政策や業務に対する幅広い意見の聴き取り	2.4
12	いずれも知らない	44.7
13	その他	1.2

Q22. 日本銀行では、インターネットのホームページを通じて金融や経済に関する様々な情報を日々発信しています。
 これまで日本銀行のホームページをご利用いただいたことがありますか。

1	よく利用する（平均月1回以上）	0.0
2	利用したことがある	5.2
3	利用したことはない	93.6

Q22-a. (Q22で1「よく利用する」または2「利用したことがある」と答えた方へ)
 どのような理由で日本銀行のホームページをご利用いただきましたか。【複数回答】

1	新聞・TV・インターネットなどの報道で見聞きした日本銀行に関する情報を詳しく知ろうと思ったため	47.0
2	日本銀行が定期的に公表する内容を確認するため	14.5
3	仕事や学習のために日本銀行ホームページを調べる必要があったため	36.8
4	検索エンジンで調べたWebサイトがたまたま日本銀行ホームページだったため	14.5
5	日本銀行ホームページのメール配信サービスを利用しており、関心のある情報が変更されたことを知ったため	2.6
6	その他	6.0

Q22-b. (Q22で1「よく利用する」または2「利用したことがある」と答えた方へ)
 日本銀行のホームページをご利用いただいた際に、目的の情報を簡単に探すことができましたか。

1	簡単に探すことができた	44.4
2	どちらとも言えない	47.0
3	探しにくかった	3.4

- Q22-c. (Q22で1「よく利用する」または2「利用したことがある」と答えた方へ)
日本銀行のホームページは全体として使い勝手が良いと思いますか。
- | | |
|----------------------|------|
| 1 使い勝手が良い | 4.3 |
| 2 どちらかと言えば、使い勝手が良い | 32.5 |
| 3 どちらとも言えない | 53.0 |
| 4 どちらかと言えば、使い勝手が良くない | 2.6 |
| 5 使い勝手が良くない | 0.0 |
- Q22-d. (Q22で3「利用したことはない」と答えた方へ)
これまで日本銀行のホームページをご利用にならなかった理由は次のうちどれですか。【複数回答】
- | | |
|------------------------------------|------|
| 1 日本銀行や金融・お金のことについて関心がないから | 20.7 |
| 2 ホームページでどのような情報が得られるのかわからないから | 33.5 |
| 3 新聞・TV・インターネットなどの報道から得られる情報が十分だから | 31.4 |
| 4 その他 | 4.3 |
| 5 インターネットを利用しないから | 25.2 |
- Q22-e. (Q22で3「利用したことはない」と答えた方へ)
ホームページにどのようなコーナー(情報)があれば利用してみたいと思いますか。【複数回答】
- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 金融や経済の仕組みを分かりやすく解説したコーナー | 37.7 |
| 2 日本銀行の役割や歴史などについて分かりやすく学べるコーナー | 10.4 |
| 3 日本銀行の役割や仕事などについて一步踏み込んで詳しく解説するコーナー | 16.6 |
| 4 お金の役割などを楽しく学べるゲームやクイズ | 10.3 |
| 5 金利と経済・物価の関係を楽しく学べるゲームやクイズ | 22.0 |
| 6 その他 | 5.2 |
| 7 どのような情報があっても利用したいと思わない | 26.6 |
- Q23. 日本銀行は、金融経済に関する情報提供や学習支援を行う「金融広報中央委員会」の活動を支援しています。
「金融広報中央委員会」または各都道府県の「金融広報委員会」を知っていますか。
- | | |
|---------|------|
| 1 知っている | 2.5 |
| 2 知らない | 93.0 |
- Q23-a. (Q23で1「知っている」と答えた方へ)
「金融広報中央委員会」または「金融広報委員会」が行っている講演会に参加したり、ホームページ(「知るぽると」)や各種印刷物(季刊「くらし塾きんゆう塾」、
「金融商品なんでも百科」など)を見たりしたことがありますか。
- | | |
|------|------|
| 1 ある | 16.4 |
| 2 ない | 83.6 |

最後に、あなたご自身のことやご家族のことについて全員にお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を統計的に分析するために欠かすことができませんので、ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

- Q24. あなたの性別は次のどちらですか。**
- | | |
|------|---------------|
| 1 男性 | 47.4 (47.8) |
| 2 女性 | 52.6 (52.2) |

- Q25. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。**
- | | |
|----------|---------------|
| 1 20～29歳 | 9.8 (10.3) |
| 2 30～39歳 | 14.0 (14.7) |
| 3 40～49歳 | 17.1 (18.6) |
| 4 50～59歳 | 16.7 (16.6) |
| 5 60～69歳 | 21.7 (21.2) |
| 6 70歳以上 | 20.6 (18.6) |

- Q26. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。**
- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1 農林漁業 | 2.5 (2.3) |
| 2 自営業・自由業 | 9.7 (8.7) |
| 3 常雇（会社員・公務員など<会社役員を含む>） | 33.9 (35.6) |
| 4 臨時・日雇（パート・アルバイト） | 15.3 (16.1) |
| 5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など） | 37.8 (36.9) |

- Q27. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。**
- | | |
|-------------|---------------|
| 1 300万円未満 | 41.5 (39.1) |
| 2 500万円未満 | 27.2 (27.4) |
| 3 1,000万円未満 | 20.9 (22.7) |
| 4 1,000万円以上 | 5.5 (5.4) |
| 5 収入はない | 3.8 (4.4) |

- Q28. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。**
- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1 単身世帯（一人暮らし） | 10.9 (11.8) |
| 2 1世代世帯（夫婦のみ） | 26.0 (26.9) |
| 3 2世代世帯（親と子供の世帯） | 49.6 (46.6) |
| 4 3世代世帯（祖父母と親と子の世帯） | 10.7 (11.4) |
| 5 その他の世帯（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など） | 2.6 (3.0) |

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

- | | |
|--------|---------------|
| 1 記入あり | 18.8 (17.5) |
| 2 記入なし | 81.2 (82.5) |